



## 「造り主である神を信じ抜く」

～私たちは実際によみがえられた主イエスを信じています！～

「このようにして、ひとりの死んだと同様な人から、天の星のように、海べの数がたい砂のように、おびただしい人が生れてきたのである。」

ヘブル人への手紙11章12節

あなたは誰を信じていますか？不可能に対して立ち向かう時に、何を信頼して生きていきますか？

形あるものはすべて滅びます。永遠に信頼できるものはこの世にはありません。だから、すべてのものは空しいと嘆くこともできます。

エルサレムの郊外に「園の墓」と言われるキリストが葬られたであろうと言われる観光名所があります。そこには「He Is Not Here（彼はここにはおられない）」と書かれています。当時の権力者たちはイエスが大いなる奇跡と共に復活した事実を知りながら、“彼の弟子たちがその遺体を盗んだ！”というデマを流して大衆をだましました。しかし、本当にイエスの弟子たちが遺体を盗んだのなら、イエスは実際に復活しなかったことになりませんが、その状況で、頼りない弟子たちが、人が変わったように命懸けでキリストを伝える人間になれるわけがありません。キリストが実際によみがえられて、彼らにお示しになったからこそ、弟子たちは命懸けで、実際に命を捨ててまで、キリストこそ救い主であり、神御自身であることを宣教することができたのではないのでしょうか。

その主は天に帰られましたが、やがて来られる方であると共に、今年の聖句のように“見よ、世の終りまでいつもあなたがたと共にいる”お方として、私たちと共にいてくださるのです。

だから、私たちは揺るがない希望を信じることができるのです！